# 婦人と新社會

山田わか主筆

## 六月號

現代人としての資格

新總裁田中氏の『產業立國』

研究と宣傳

慶大三教授の女性侮辱

娯樂に耽り過ぎる都會人

大正九年二月二十三日第三種郵便物認可
大正十四年五月廿三日印刷納本

每月一回一日發行　第六十三號　大正十四年六月一日發行

東京[illegible]婦人と新社會[illegible]

# 現代人としての資格

現代人として必要な要素は先づ三つあります。(1)社會を必要とすること(2)社會人としての資格があること(3)社會を愛すること。

(1)の社會を必要とすると云ふことは、一社會を組織し維持すると云ふことです。社會から離れては人間は生存を繼續することが出來ないからです。けれども、(2)の社會人としての資格の有無は社會を必要とすると云ふことゝ並行するものでありません。なぜなら、恐らく、子供や低能者は誰よりも多く社會を必要としますけれども、併し、社會人としての資格はありません。且つ、又、民衆と稱せられる者の中には一生を通して社會を組織したり維持したりするに不適當者が少なくないかも知れません。心身に缺點があつたり敎育が無かつたりする結果。のみならず多くの場合ひ彼等は根本的に自己主義者でありますから。

(3)の社會を愛すると云ふことに付て、人は社會のために社會を愛するかと問ふならば、先づ否と答へなければなりますまい。なぜなら、社會を愛するような風に見へても其の本心をたゞいて見るならば大抵は自分自身の利益の又は自分自身の名譽のためであつて、自分を愛すると同じように他人をも愛する結果社會を愛するのではありません。

社會改良家、革命家、殊に、政治家のうちに、自分の利益又は名譽のためでなく、自分を愛する如く同胞を愛するために仕事をすると云ふような人が何人あるでせうか。

# 新總裁田中氏の「産業立國」

## 一

政友會の新總裁田中氏の就任演說は私共國民を少なからず失望させました。今更らしく「凡そ政治の要は國民の生活を充實して國運の進步を圖るに在る」だの、「産業立國を以て我が立憲政友會の主要なる政綱の一ッに數へたいと思ふ」だのと。そんなら今迄の政治は國民の生活の充實を圖つてはゐなかつたのか？　健國以來農業産業を以て生きて來た事實を今迄の政治は無視してゐたのかと反問したくなります。

餘まりに當然な三尺の兒童にも分りきつてゐるようなことを云はれたのでありますが、併し、今迄の政治家には餘まりに言行不一致な者が多かつたのですから、さう云ふ人達に對して、もう一度政治の要を說いたのだと解釋すれば、先づ、それでもよいとして、私は氏のそれ等の言葉が必ず實行に移される日を刮目して待つて居ようと思ひます。



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

尤も、此の「産業立國」の内容はまだ明瞭ではありませんが、恐らくは、農業産業のみでは足りないから大いに工業産業をも起そうと云ふ意味も加はつてゐるのではないかとも思ひますが、併し、さう云ふことよりも何よりも、とにかく、農業によつて立つてゐる我が國であるから、政治は先づ何を置いても農行産業に從事してゐる人々に無駄な努力をさせないこと、云ひ直せば、彼等が收穫した十俵の米を八俵にしてしまはないように工夫することが最も簡要であります。

## 二

産業立國、それを必ずしも惡くはないとしても、それよりも先きに、無駄を取り除く工夫をして貰ひたいと私は思ふ。その無駄に付ての實例を次に聊か擧げて見ませう。

たとへば、鐵道を新らたに布設するとします。それが必ず有益な處へ、つまり、本當に國民の利益と云ふ點からの計畫であるならば其處に議論の起りよう筈がない。けれども、それに付て必ず爭ひが起ると云ふのは、それが國民の利益と云ふことが中心點ではなく、或る一部の人々の私利を計ろうとすることが中心點となるから爭ひが起るわけです。又、名士の銅像を建立すると云ふこと其

れ自身は悪いことではなくても、其れを建立することによつて私腹を肥やそうとする者が其の仲間にあるからしば〳〵厄介な問題が起つて來ます。

今日の國有、縣有、又は、市有物は多く經營がヘマで其の上に面白からざる事實が往々暴露されるのでありますが、第一に其のヘマの理由は人材本位ではなく情實本位で人を採用するからです。情實で行くから無やみに必要でもない人間を入れる。そして、其處へ政治ゴロや狡猾な商人が乘ずる。從つて、何にか名目を造つては出費する。

誰でもが知るように東京市民は電車に乘るのが一仕事です。それ程、電車はいつも込み合ひますそれだけの乘客が電氣局へ與へる收入は大したものであるに相違ありません。併し、電氣局ではそれでも儲かつたような樣子を見せません。なぜなら、隨分ヒドイ車臺も改造しようとはせず、線路の延長もはか〴〵しくない。依然と貧弱な狀態を續けてゐます。そして、それは儲からない證據でありませうし、乘客は死に苦しみをする程乘つてゐるのに儲からないと云ふのは、何處かへ無駄に金が引けてしまうことの證據です。

この無駄と云ふことに付ての私共の實地觀察の一例を擧げて見ませう。先頃、電燈地下線の修繕

工事がありました、それに必要な石板、土管が配置されました。一二週間ほツたらかしてある間に私の家の前に配置された分は一枚減り二枚減り、いよ〳〵工事が始まる迄には殆ど半分になつてしまひました。それから、其の時掘り出した地下線凡そ八十尺ばかりのものが矢張りいつ迄も〳〵ほツたらかしてあるうちに五尺切り取られ六尺持ち去られるうちにいつの間にか全部消へて行つてしまひました。そして、こう云ふことは各處に於て行はれると推測出來ます。

材料を等閑にして置くこと、監督の不行屆き設計がヘマなためのやり直し、かくして二重にも三重にも無駄をしてゐるのですから、三百萬圓の工事をしても結局は其の半分も有効には使はれてゐないと云ふことになるのです。そして、その無駄になつた費用が皆電氣使用料にかゝつて來るのですから、電氣使用者が増加すればする程料金が安くなるのが本當であるのに、その反對に料金は益々高くなるばかりです。

市經營のものが其の通りであるから、そんならば、私立會社は多少は市民の利益を計るかと云ふと、これは又一層厄介な代物です。たとへば、ギヤス會社のようなのは市會と結託したり何にかして悪手段によつて會社の利益にのみ汲々としてゐて、市民は全く無保護の狀態にあると云ふ實狀で

す。市會に又は有力者に結託すると云ふのは金を意味します。ですから、ギャス使用者は會社の經營費、運動費、株主への配當、それ等を全部支拂はなければならない。結局、貧弱なギャスを非常に高く賣り付けられて居ることになつてゐるのです。

道路の問題にしても、要するに、或る程度迄はこれは金の問題で何にも難しいことはない。何等の政策も秘密もありはしない。仕事は極く單純であるのです。であるのに、やれ調査の、研究の、海外に人を派遣するのと、そして、此の費用は莫大です。

教育の方面に於ける無駄も數へ上げれば限りがありませんが一例をとれば、外國では會社の事務をとる所謂書記なる者は小學校を卒業して六ケ月か一年商業學校に行けば其れで充分なのです。けれども、我が國では、其の事務員なる者に商科大學とか法科大學とか出た者を使つてゐます。外國人は僅か一年で成れる事務員に、我が國では、中學が五年、豫科が二年、本科が三四年と云ふように、十年内外を費してゐます。それでも、外國の事務員よりも成績はよいかと云ふと、却つて、生かじりの理窟を云ふことばかりが達者で事務をとることは劣つてゐると云ふ結果を生んでゐます。して見ると、莫大なる出費の差、青年時代に費した長い年月の差が、皆、無駄になつてゐると云ふ

ことになります。

三

近代の理想主義哲學の建設者バークレーは國民衰微の原因を擧げて次のように云つてゐます。「無駄をはぶくことが國家を養ふ食物であり、同時に力である。これによつて國家は生活し成長する。けれども、それを忘れ、おごりに走ることによつて國民は墮落し、そして、それが國家衰亡の自然の原因である。昔のペルシヤ、ラセドモン、羅馬の例は誰でも知つてゐるし、其の後もいくつも〳〵の國家が生れては倒れ、生れては倒れしてゐるのは皆同じ原因によつてゐるのだが、併し、現代人は其れを反省しようとはしない。この無駄をはぶくと云ふことは王國よりも共和國の方がより容易に維持出來ると云ふ人もあるけれども、併し、一度、おごりに陷つた國民を復活させるには共和國よりも王國の方が一層容易である。なぜなら、一國を墮落させるのも改良するのも上から始めると云ふことが最も有効であり、手ツとり早い。美食美衣を避けると云ふようなことは法律で禁ずるよりも上の方から例を示す方がよりきゝめがある。上流社會が華美に流れることによつて下級は

直ぐに其れを眞似る。

「流行の源泉なる佛蘭西自身が其の流行創造の天才のためには可なり苦しめられてゐるし、その他の歐洲諸國は佛蘭西を模倣するかしないかによつて其の國の貧富が別れてゐる。昔の諺に人を墮落させるには彼に美しい衣服を着せることだと云ふのがあるが、これは今猶有効である。借金國であるにも拘らず、娯樂がなか〳〵盛んである。歌劇・舞踏、芝居が實際流行してゐる。こう云ふ狀態が結局何處へ行き着くかを見得る常識と思考力を持ち合せない人間が多い國なら、其の國の將來はもう見へすいてゐる。遊戯氣分が國民の精神及び行爲の上に如何なる惡影響を及ぼすかを見得ない國民は不幸である。

「昔の希臘人は此の點をよく悟つてゐた。故に、國民的遊戯を實に重大視してゐた。國民的遊戯をして國民の道德を破壞させないような規定を造り、劇を改良した。故に、昔のアゼンの社會道德と常識は今猶我々の模範である。このへんの消息を理解する人は、國家を倒したおごりと無駄に關しては戰慄を禁じ得ないであらう。けれども、國民の大多數が其の點に氣付かないならは其の國の倒壞は、唯、時の問題である。」と。でこれは、百五六十年以前の英國人にビショップ●バークレー

グが發した警告でありますが、此の警告は二十世紀の我が日本國民に直ちに應用出來る言葉です。

## 四

繰り返へして申しますが、「產業立國」を實現することは正當なことであるし、又、今、始まつたことではなく、我が國が今日迄生活し、進んで來たのは農業產業立國であつたからです。で、莫大なる借金を背負ふてゐるにも拘らず、國民は今おごりの時期に入ろうとしてゐるのです。賃銀增加配當、退職及び何々手當、國民的娯樂、其の他何々と、名目こそ正當らしくても、其のうちには大分おごりが加味してゐるのが少くありません。

田中總裁、並びに、其の他の政治家諸士に私は希望します。新らたに「產業立國」を標榜する代りに、我が國產業の基礎を蝕んでゐる寄生虫的又はおごり的病毒の驅除に留意されることを。同時に政黨員中の煽動屋、政治ゴロと稱する寄生虫を驅除して、政界廓清の實を擧げて頂きたい。さすれば、產業立國は云はずして實現されて來ます。

何となれば、產業立國は原因ではなくして結果であります。

# 研究と宣傳

新聞雜誌を通して見る我が思想界は恐しい勢ひをもつて個人主義的に走りつゝあります。それも哲學的個人主義ならば差し支へないが多くの場合ひ其れが利己主義的に墮してしまつてゐるから困るのです。

たとへば、所謂社會科學研究にしても、それが本當の研究的態度に出立してゐるならば、個人並びに社會を益するとも決して害を爲すものではないのですから、如何に頑迷な當局者でも、其れに對して壓迫を加へるわけがありません。けれども、學生の所謂社會科學研究は、可なり多くの人が摘發してゐる如く、又、當局者も說明してゐる如く、未熟な知識を宣傳用にするからであります。則ち、本能の滿足及び利己主義から始まつた社會論であるからです。

最近、或る雜誌社から「社會科學」と云ふ雜誌が發行されるそうですが、廣告にある其の內容を見ると、社會科學と云ふよりは、むしろ、社會主義共產主義の宣傳雜誌であるかのような觀がありま す。

私共は何處迄も研究の必要を認めます。けれども、研究と宣傳とを斷然と同一に見るものではありません。研究は秩序を誤まつては不可能です。秩序を誤まつては研究になりまん。從つて、社會を害する危險は絕對にありません。これに反して、宣傳は人間の弱點、則ち、利己主義乃至俗惡な本能を巧みに利用して、それを立派そうなものに造り上げて活躍させようとするのですから危險です。

我が日本は久しい間思想的に恐れてゐた露國と國交を復活しました。けれども、國交を復活させたからと云つて今迄恐れてゐた原因が無くなつたと云ふわけではありません。そんならば、何故に危險の原因を除去せずして國交を復活させたかと云ふとこれも同じく利己主義に出立してゐると云ふことが看取されます。一方は利權を得ようとする。そして他の一方は其の利權を利用し、併せて宣傳用にしようとしてゐるのです。

露國の立場は東洋に共産主義を宣傳しようとし、そして、その宣傳には金が必要です。同時に、本國の經濟狀態を改良する必要があり、それにも亦金が必要です。そして、その金を得るには利權を貪るのが近道であるし、其の利權は、又、たちまち買はれます。なぜなら、一方は其の利權に汲

々としてゐるのですから。そして、その利權から上がる金の幾分を利用して日本を赤化しようとすることは露國にとつては最善な方法であるのです。

併しながら、日本にとつては、これは又非常に不利益です。いはゞ自分の金で自分の首を締めるようなものです。宣傳の核心則ち中心點は、いつも國家の威信をないがしろにした言語を吐くこと則ち、無責任な自由思想を皷吹すること、且ツ、他の一方に於ては、男女關係の研究と云ふ名の下に、又は、女子解放の名の下に男女關係を亂すことであり、そして、此の男女關係を亂すことは一國の精神界を維持する道徳の糸を切ることであります。で、此の國家の威信を落し道徳を亂すことは一國を混亂に陥れるに最も手近かな方法でありますから此の點に付て英國の内相ヒックス氏は、五月十五日の外電によると、モスコーに本據を有する共產黨の宣傳に言及して云つてゐます。「共產主義の宣傳の害毒に對しては不斷の注意と、十分なる武裝とを必要とする」と云ふようなことを。

露國共產主義の黴菌は既でに我が國民のうちには移殖されてゐて、資金さへあれば何時でも自由に活躍出來る運びになつてゐます。ですから、我が國一部の思想界は、それ等のいろ〳〵の名目によつて僞瞞的な社會思想普及に對抗するためにも、所謂社會科學に非らずして、本當の意味の社會



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

科學の研究書並びに研究雜誌を眞摯な態度をもつて發行する必要があります。

# 慶大三教授の女性侮辱

色魔慶大文學士が懲役一年を求刑されたのに對し慶大教授が三人連名で「前途ある靑年であるから寛大な御處置を願ふ」と云ふ意味の嘆願書を裁判所へ提出した。すると、各方面から其れに對して猛烈なる非難の聲が起つたが、これは當然なことである。

彼の毒手にかゝつて生涯をあやまり悲嘆のどん底に呻吟する幾人かの婦人の苦痛にくらぶれば、彼は終身懲役に處されてもまだ足りない位ひである。「罪を憎んでも人を憎まず」主義の寛大なる處を三教授は示したつもりであつたかも知れないけれども、併し、それもことにこそよれである。

もし、三教授にして正義の觀念を幾分持合せて居り、時代精神のはじかけでも理解してゐるならば、彼等が彼に何等かの深い關係があるならば猶更のこと、かりに彼が法律上無罪となつても社會的制裁をとる方針に出る筈である。

併し事實は其れと反對である。實に、色魔山根某の罪を無視し、法の制裁すらも逃れしめようと

する三教授は天下の女性を侮辱したもの、その罪は山根某と同等であり、勿論女性の敵であり、同時に、此の位ひ正義觀念の痲痺した、時代精神とはかけはなれた教授がゐる大學なるものゝ威信に對して私は疑ひなきを得ない。

## 娯樂に耽り過ぎる都會人

▲本號五頁に於て、外國の事務員は小學校を卒業して六箇月か一年商業學校に行けば事務員として充分役に立つようになるが我が國では商科大學とか法科大學とかを出たものが事務員になつてゐる無駄なことだと申ましたが、と云つて事務員には學問はいらないと一途にきめてしまふわけではありません。事務員でも商人でも農夫でも職人でも出來るだけ高い學識を持つてゐる方が善いには相違ないのです。

娯樂の方面に付ても、此の頃は毎日毎晩東京及び近縣のラヂオファンのために何にかしらの音樂が放送されますが、實に夜となく晝となく音樂を樂しんで過して居られゝば其れに越したことはありません。

職業の種類を問はず、社會上の位置が何であれ、凡ての國民が大學教育を受けて、そして、晝一の別なく音樂を樂しんでゐて、何等の不都合がないならばこれは誠に結構なことで、それこそ本當に、此の世ながらの天國のようなものでありませう。

けれども、我が國の實情が、國民の經濟狀態がそれを許してゐるかどうか。先祖傳來の田畑を金に代へたり、又は、親が自分の生命をちぢめるような苦しい思ひをして子供を大學に送つて、そして、卒業してから事務員では、どうも、そろばんが持てないこと、又、素晴しい大きな借金を背負つて居る國民が夜晝、音樂に夢中になつて居ることは、あまり、かつこうがよくないことを云ひたいのです。

▲私が田舍から始めて都會に出た時、先づ第一に感じたことは、都會には遊んでゐる人が餘まりに多いと云ふことでした。農家では一年中の大部分、いつも忙しい

子供等の手は勿論のこと猫の手でも借りたいような思ひに追はれてゐるのに都會には「今日の一日はどうして過ごそうか」と思案するような人間があることに私は驚かされました。そして、さう云ふ人間は以前も今も同じようにあつて、今も以前も同じように私はさう云ふ人間に反感を持たせられてゐます。

▲それと同じ反感をラヂオに對して最初私は持たせられました。ラヂオ其のものを惡いと私は決して云ふのではない。東京市民が餘まりに其れに熱中するのが不服だつたのです。東京に住んで居たからとて眞面目な人は、皆、それぞれの仕事を持つてゐます。同時に、幾らかの勉學の時間を必要としてゐます。そして、其の勉學の時間は、夕食後の二三時間に限られてゐます。一日の業を終り夕食をしたゝめてさてゆつくりした氣持ちで讀書する。おとなが靜かに讀書すれば子供達も學課の復習やら豫習やらにいそしみます。處で、ラヂオが來るようになつてからは、多くの家庭で其の習慣が破されそうになりました。私共が動く子供等の心を抑制しますから其の習慣が全然ぶち破はされなくとも子供等の心が落ち付かないのは同じでせう。

此の頃はプログラムがいつも子供等の心を引くものでないのでラヂオ熱が幾分下火になつたような傾きがありますが、其處で私は考へます。市民の心を引かないようなものは折角放送しても、費用倒れ、手數損になるし、もし又、市民の心をいつも引きつけるとすれば、それは勉強の時間を妨げることになるから、放送は土曜日の晩と日曜日の午後から夜にかけてと云ふ位ひにしてはどうかと

（誌代に付て申上げます。本年一月から郵便規則改正の結果、集金郵便は三圓以上でなければ扱はれない事になりましたから、今後は成るべく振替にて御送金願ひたう存じます。）

**本誌臨時定價表**

| | | |
|---|---|---|
| 一册 | 金十錢 | 送料五厘 |
| 六册 | 前金五十五錢 | （送料共） |
| 十二册 | 前金壹圓 | 送料共 |

●誌代及郵税は前金の事●御送金の際は振替貯金東京五三六八八番に御拂込みのこと●郵券代用は五厘切手にて一割増●廣告は御照會次第御相談いたします

大正十四年五月廿三日印刷納本
大正十四年六月一日發行

東京市四谷區南伊賀町四一
編輯兼發行人　山田嘉吉
東京市牛込區山吹町一八九
印刷人　大杉直次郎
東京市四谷區南伊賀町四一
發行所　婦人と新社會社
振替東京五三六八八番